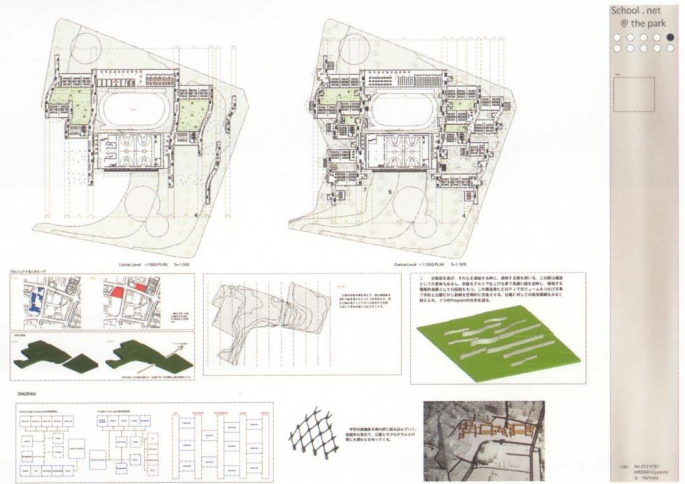
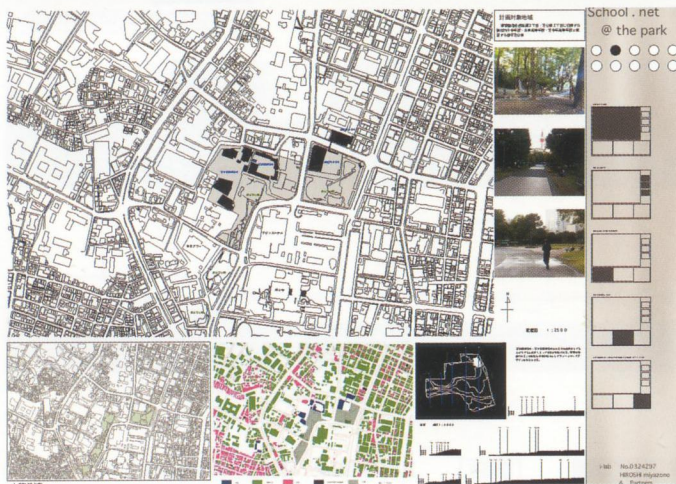
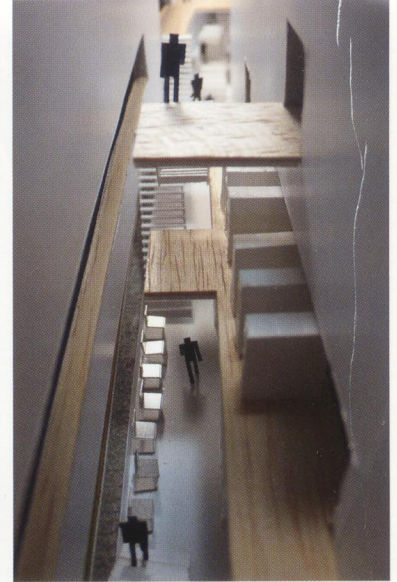


School . net @ the park

公園をつなぐ学校群の提案

宮園 博 (みやそのひろし)

千葉工業大学 工学部建築都市環境学科



都市圏の学校とは学生にとって街にとってなんなのだろうか。その問いをもち今回の卒業設計に臨む。敷地は東京都港区西新宿3丁目にある東京タワー目の前の都立芝公園に隣接して立地する3つの学校を選択する。まず学校が3つ隣接していることの場の力を導きだし、次に浜松町の街にとって貴重な存在である都立芝公園と学校のプログラムを共存させる事で2つのプログラムが活かされてくる学校の形態を用いる。タイトルの1部のnetは、学校の形態が網 (net) 状であるということ、学生の生活をウェブ (network) のようにイメージしながら設計したという2つの意味がある。単に学校は「子供の学び場」というだけでなく地域の力を活かし「生涯の学び場」であるべきではないかと考える。

【講評】 都市部の学校が地方に比べて、その施設規模において劣悪な環境にあるとする作者は、都内港区内の既存小中学校及び高等学校と隣接する公園の敷地を一体とした教育施設の提案を試みた。計画では、東西軸に教科教室群・南北軸に特別教室群を連ね、東西軸をピロティ構成として学校と公園の空間的相互貫入を図っている。また、南北軸はこの施設のアクセス動線を内包し、特別教室群は生涯学習の場として市民開放・市民サービスに貢献することが期待されている。都心の学校施設の再構築の提案として、他の施設との複合化以外の新しい視点として質の高い・優雅なデザインとしてまとめられている。願わくば、眺めとしての景観的視点・公園利用者からの視点も積極的に提案して欲しかった。学校と公園の平面的でなく立体的な貫入も一つのヒントとなろう。

【審査員：星野 治】